

令和 7 年 3 月 吉日

「こころとからだの痛み研究会」第 18 回学術集会のお知らせ

会長：高野覚 先生

日時： 令和 7 年 4 月 13 日（日） 10:00～16:00

場所： 東京教育専門学校 7 階会議室
アクセス：JR 目白駅前（学習院大学の向かい側）
〒171-0031 東京都豊島区目白 2-38-4
電話：03-3983-3385

会費（弁当代込み）：

一般の方：6,000 円、医療・介護・福祉・教育関係者：8,000 円、
医師・歯科医師：10,000 円、製薬会社関係者：10,000 円
（昼休みに弁当をめし上げて頂き、この間に自己紹介と総会を行います。）

参加方法：参加希望と明記して事務局（下記参照）にご連絡下さい。

沿革：「こころとからだの痛み研究会」は 1988 年に創立された「痛みと漢方シンポジウム」に遡りますが、1989 年に「難治疼痛症例ワークショップ」として独立し 1998 年まで続けました。翌年に有志により復活させて「こころとからだの痛み研究会」と名前を変えました。一時は休止した事もありましたが、現在、年に 2 回学術集会を開催しています。

目的：本会は「痛み」の集学的治療を勉強するために、多業種の医療介護職などによる意見交換を行い、包括的医学の研究および啓蒙・普及を目的にしています。

前回の学術集会（令和 6 年 10 月 13 日）について：

テーマは「発達障害」でした。

会長の佐藤武先生（はーと・なう心療クリニック院長、精神科医）は基調講演として「発達障害の精神科診療」をご講演されました。

井上大輔先生（聖路加国際病院麻酔科、麻酔科医）は「緩和ケア診療から考える疾病観と死生観」をご講演されました。

福成敬三氏（フォーサイト緑地環境研究所代表）は「発達障害の息子との二人暮らしをとことんしてみた 5 年間（体験談）」をご講演されました。

グリーンンせつゑ 先生（歯科医）は「障害児の歯科診療」をご講演されました。

本多清寛氏（熊本県泰陽寺副住職、曹洞宗）は「仏教の疾病観、特に発達障害について」をご講演されました。

山田仁三先生（柏崎厚生病院精神科、東京医科大学解剖学教室・名誉教授）に指名発言をして頂きました。

プログラム

テーマ：「医療の限界とその先にあるもの」

- 10:00~10:30 **基調講演：精神科医療に出来る事と出来ない事**
高野覚 先生
本庄児玉病院院長 精神科医
- 10:30~11:30 **講演：痛みは感じるのではなく、痛いと解釈するのである。**
山田仁三 先生
柏崎厚生病院 精神科医 東京医科大学解剖学教室名誉教授
- 11:30~12:30 **講演：日本人に合った精神療法とは（欧米流の問題点）（仮題）**
佐藤武 先生
はーと・なう心療クリニック院長
元・佐賀大学教授 元・九州大学教授
- 12:30~13:30 昼休み：弁当配布 自己紹介 総会
- 13:30~14:30 **講演：全人的医療からみるスピリチュアリティ**
加藤眞三 先生
エムオーエー高輪クリニック院長 消化器内科医
慶應義塾大学看護医療学部名誉教授
- 14:30~15:30 **講演：日本人の宗教観**
山田寛幸 先生（かわさき診療所 精神科医）
Ivor Pugh 氏（文化人類学修士：ピッツバーグ大）に
米国と英国の宗教観の差異について発言して頂きます。
- 15:30~16:00 ミニリサイタル 植田伸子氏（ピアニスト）

「こころとからだの痛み研究会」

“THE COMPREHENSIVE RESERCH SOCIETY ON HOLISTIC TREATMENT
FOR PSYCHOSOMATIC PAIN”

代表世話人 山田寛幸

〒204-0022 東京都清瀬市松山 2-1-7 マルコビル 202 号

公益社団法人・日本医学協会 内

E-Mail : yamada0324hi@gmail.com